



～津山市青少年育成センター～

少 子高齡化や核家族化の進行に加え、生活様式の変化、急激な高度情報化などにより私たちが取り巻く社会は急激に複雑・多様化しています。このよ



現代の子どもたちは外遊の機会が奪われ、地域との関係も希薄化しています。自然環境の中で、また地域のいろいろな人たちとのかわりの中で、自主性や社会性を育んでいくことが阻害されています。

津山市青少年育成センターは、子どもたちの健全な育成を願って、家庭・学校・地域社会と連携しながら様々な活動を行っています。

津山市青少年育成センターのおもな活動

◆街頭指導活動

青少年への愛情をモットーに声かけをするとともに、学校や地域と連携して、市内全域で関係機関や団体と街頭点検、深夜指導、合同補導を実施。不良行為少年の早期発見と早期指導にあたっています。

◆列車指導活動

列車通学生徒の車内でのマナーを向上させるため列車内や駅周辺での指導を行っています。

◆相談活動

青少年や保護者、関係者を対象に電話や面談による相談を受け付け、悩み解決にあたっています。

◆啓発活動

講演会や研修会、中高生と大人との「こころのふれあいトーク」の開催、啓発ビデオの貸し出しを行っています。

◆環境浄化活動

環境地図の作成、かけこみ110番、地域青少年健全育成活動への支援をしています。

◆関係機関や学校との連携

学校や少年サポートセンター、警察署、児童相談所、必要に応じて他機関との連携を取っています。

地域の力を子どもたちのために

子どもたちの健全な育成には、学校・家庭はもちろんですが、地域の力が大切です。地域に顔見知りの大人が増えるのは子どもたちにとってもいいことです。私は3年前から小学校の登校指導に立っていますが、今では子どもの方から声をかけてくれるようになってきました。子どもたちには、あいさつをはじめ一般常識のわかる思いやりのある子に育ててほしいです。



津山市青少年育成指導委員連絡会会長 福田鶴夫さん(河辺)

そのためにも大人が地域の子どもたちへもっと目を向けて、声をかけるように心がけていただきたいです。



▲約100人が参加したサマーナイトパトロール



地 域に住んでいる人たちによって子どもたちを見守り、子どもたちを声をかけ、地域のふれあいの中で子どもたちを育てる。これらは、昔は当たり前にあった地域の力です。

地域の育成指導委員

健全育成のための環境づくりを

津山市青少年育成指導委員は、日ごろの子どもたちへの声かけのほかにも、街頭点検や街頭指導を行っています。先日もサマーナイトパトロールで夜11時くらいからコンビニに出かけました。街頭指導で実際に子どもたちへ注意することは少ないのですが、注意する件数よりも、子どもたちのために地域の人たちがこのように動いているということが大切だと思っています。地域の子どもたちには、正しいこと、悪いことをわきまえたうえで、のびのび元気に育ててほしいです。そのための環境づくりに、この活動が役立てればと思います。



津山市青少年育成指導委員 有木強之さん(東田辺)

子どもは地域で育つ。大人は地域で手をつなぐ。これを合言葉に、津山市青少年育成センターでは、津山っ子は津山の宝。津山の明日を担い、未来を輝かせてくれる存在です。家庭や学校はもちろんですが、地域のみなさんの力が必要です。今後も、子どもたちのためにともに協力していきましょう。

下級生に付き合ってもらいたいと言われ断ったら、無言電話や待ち伏せをされるようになった(中3男)

以前仲良くしていた友だちが遊んでくれなくなった(小5女)

1週間くらい前から小1の娘が学校に行きたくないと言出した(母)

たばこをやめたいがやめられない(高校生男)

小6になる娘とすぐにけんかになってしまった(母)

友だちがいじめにあっている(小6女)

ちょっと電話してみませんか あなたの悩みをいっしょに考えましょう何か答えが見つかるかも...

青少年育成センター
市役所東庁舎3階 ☎31-8650
相談時間: 月～金曜日午前9時～午後5時(相談無料・秘密厳守)
※来所相談(予約要)もどうぞ

※相談内容の年齢などは実際のものとは異なっている場合があります

セ ンターでは、青少年についての悩みごと相談電話を受けています。

家族のことや友だちのこと、非行、いじめ、恋愛、心や体のこと、子育てなど、青少年のことなら、子どもから大人まで相談を受けています。一人で悩まないで、ちょっとした電話をしてみませんか。相談員が話を聞き、必要があれば専門の機関を紹介いたします。

※秘密は厳守します

青 少年育成センターには、4人の指導員がおり、学校や各機関との連携のほか、街頭指導や列車指導、相談活動など、直接子どもたちとかわかる指導を行っています。

子どもたちに心に向けて

子どもたちが健全に育ち、非行に走ることをないようにするには「悪いことは悪い」と注意を促すことが必要です。そのためにも、日ごろから声をかけられる関係づくりが大切です。まずはあいさつから。良いことをしているときに声をかけていけば、悪いことをしているときにも声かけられます。ぜひ、日ごろからの声かけをお願いします。

保護者のみなさんへ

子どもの一番近くにいるのは親です。小さな変化を見逃さないように、1日何分かでも、心を込めて子どもに向き合う時間、子どものことを考える時間を持ってください。

指導員の働き

こんな場面でも声かけを

- ☆街頭で...未成年者の飲酒・喫煙、怠学、深夜徘徊、自転車の2人乗りなどの指導
- ☆列車で...通路へのしゃがみ込み、大声でのおしゃべり、車内動き回りなどの指導